

北海道立図書館所蔵

松井愈氏資料目録

北海道立図書館

## は じ め に

この目録は、故松井愈氏の御遺族から寄贈された氏の書籍、手稿、所蔵資料を整理したものです。

松井愈（まつい まさる）氏は、大正 12 年 10 月、由仁村（現由仁町）に生まれ、平成 8 年に死去されました。元北海道大学理学部助教授を経て、57 年教授。62 年 3 月退官。その間、十勝管内忠類村でのナウマン象化石発掘、足寄町でのデスモスチルス化石発掘などに携わり、発掘団長として活躍されました。また、北海道平和委員会の事務局長として恵庭闘争、長沼闘争に取り組むなど、広く科学運動・組合運動・平和運動にも携わり、この分野での貴重な資料を所蔵していました。著書・論文も多数。

氏の略歴、平和・科学運動論文、著作目録については、『松井愈平和運動論文集』（No.210）を参照してください。

目録の記載は、

履歴、 自筆原稿・レジユメ、 論文・論考、 遠友夜学校、 民科・民科地団研・地団研・十勝団研、 地質学研究、 科学運動、 北海道大学、北海道文化人の会・60 年安保闘争、 平和運動・平和教育 に大別し、資料番号は通番とした。

尚、松井氏が項目別に封筒やファイリングにとじていたものはそのまま“封筒内”“資料ファイル”等としてまとめてある。 請求記号 H095 - Ma

資料収集・整理にあたっては、北明邦雄様のご協力をいただいた。感謝申し上げます。

先に収蔵した『長沼事件関係資料』（請求記号 H393.9 - Na）（『同資料目録』平成 16 年 8 月 10 日刊）とあわせてご利用いただきたい。

## 目 次

履 歴	3
自筆原稿・レジюме	3
論考・論文	4
遠友夜学校	4
民科・民科地団研・地団研・十勝団研	5
地質学研究	7
（ライマン関係資料）	8
科学運動	10
北海道大学	11
（文武会事件・全協事件）	11
（イールズ事件）	12
（北海道大学教職員組合）	13
北海道文化人の会・60年安保	14
（北海道文化人の会）	14
（60年安保闘争）	15
平和運動・平和教育	16
松井愈講演記録他	18
（平和教育）	19
（平和委員会）	19
（わだつみ）	20
（平野文庫）	20
（その他）	20

## 履 歴

- 1 「松井 愈略歴」 自筆
- 2 「調査表」
- 3 「(辞令) 社団法人札幌遠友夜学校農学博士半澤洵」 1941.5.23
- 4 「認可書 北海道庁長官戸塚九一郎」 1941.5.23
- 5 「松井愈先生を囲む夕べ - ご案内 - 」 (1987.3.25)
- 6 「松井愈先生を送る夕べ」 ポスター (1987.3.25)
- 7 「(挨拶文)」 1990.8
- 8 「合葬推薦書」 コピー 1997.1.27
- 9 「教員個人調書」
- 10 「松井愈 平和・科学運動著作目録」 自筆コピー
- 11 「松井愈 平和・科学運動著作目録」 ワープロ版
- 12 「松井愈先生 略歴 - 平和・科学運動の歩み 平和・科学運動論文・著作目録」  
1997.10.25
- 13 『SKETCH BOOK 1952 - 夏~秋』
- 14 アルバム (遠友夜学校)
- 15 「續」アルバム (北大予科・学部時代)

## 自筆原稿・レジュメ

- 16 「炭砒を知ることによって私達地質研究者は、どう変化して行こうとしているか」 13枚
- 17 「炭砒.....おくれとむじゅん」11枚, 「釧路の山と市街と海と」3枚 ペンネーム(くわのみちお)
- 18 「日本人の学問を守ろう。戦争のために科学を使うな(千島・樺太軍事地質誌を阻止)」  
12枚
- 19 「§1 平和運動の現状と平和勢力の力量 §2 平和運動の歴史」18枚
- 20 「(二) 世界の軍備全廃と日本の中立政策、平和共存の道」 12枚
- 21 「安保と中立の問題 - 平和共存と軍備全廃」 7枚(6~8p欠)
- 22 「いっさいの平和と民主主義の力を結集して安保条約廃棄と中立・平和の国民運動を  
おこそう」 1959.2 4枚
- 23 「最初に一言御あいさつします。...」(北大平和委員会の集会での挨拶原稿) 5枚
- 24 「 」(全学共闘会議声明原稿) 1960.1.23 12枚(15×10cm)
- 25 「全北大共闘会議<第一次草案>」 1960.1.28 13枚(15×10cm)
- 26 「批准阻止全学抗議集会基調報告<第二次草案>」 1960.1.28 12枚
- 27 「 」(第十二次全国統一行動鉄北地区集会での挨拶原稿) 1960.2 10枚
- 28 「ナエボ共闘で話し」 講演レジュメ 1960.2.28 16枚(10×20cm)

- 29 「 」(北大婦人集会講演原稿) 1960.3.10 9枚
- 30 「今日、4月26日はどのような日なのか」(安保批准阻止全学抗議集会基調報告)  
1960.4.26 4枚
- 31 「安保の斗いはどういう状態にあるのか」(平和委員会会議での問題提起) レジユメ  
1960.5 9枚
- 32 「茂尻安保討論集会の報告」 1960.5.17 2枚
- 33 「北海道平和委員会による6.29平和活動家交流会報告」 15枚(NO.5欠)
- 34 「世界の平和運動はすすんでいるか」 11枚
- 35 「新安保」 レジユメ 2枚
- 36 「北海道平和委員会資料 75 - 北海道(安保総告発 その2)」 1975.7.24 46枚
- 37 「千歳OTH基地をめぐって」 レジユメ 6枚
- 38 「“憲法を武器に、諸国民の平和に生きる権利を打ちかためる平和運動”  
1991 45枚
- 39 「酒城さんが語る生いたち - 」 B4・2枚(B5・4枚) コピー
- 40 「出会いとお別れと」(小笠原貞子氏を偲んで) 2枚
- 41 「時(歴史)は流れるのではなく積み重なるものである」レジユメ 93.1 13枚

## 論文・論考

- 42 自筆論文・論考バインダーファイル 約140篇  
「ライマン(B.S. Lyman)と北海道の炭鉱(『歴史家』創刊号抜刷)」、「イールズ  
事件・その現在における意義」、「恵庭事件とそのたたかい」、「北海道における軍事基地  
闘争の発展と平和委員会の活動(『平和運動資料 273号』)」、「恵庭闘争の総括のために」、  
「政府・自衛隊の憲法反逆罪を告発する」、「平和運動における政治課題の追求と調査・  
学習・情宣活動の結合」、ほか

## 遠友夜学校

- 43 『 - あるセツルメントの記録 - 遠友寮日誌より  
(1) 昭和十七年十一月二十六日 昭和十九年三月六日』  
(2) 大学ノート A4 変形版
- 44-1 「札幌遠友夜学校教師名簿 昭和十六年六月」ほか コピー 2枚
- 44-2 「庶務日誌」 コピー 11枚
- 45 遠友夜学校 松井愈宛葉書 12枚(1941~44) , 「秋葉方松井愈宛葉書」2枚  
(1944.5.30 / 6.7) , 「夕張鹿の谷 松井愈宛葉書」1枚 (1944.6)
- 46 『遠友』第31号(札幌遠友夜学校報五十周年記念号) 1943.6.18 \*札幌遠友夜学

の回顧(半沢洵)ほか

- 47 『北海道新聞』いずみ欄(梅野きん子氏の文章2篇,中村節子氏文章1篇)コピー2枚  
「さっぽろ文庫第18巻「遠友夜学校」にかかわる執筆依頼について」(松井愈宛桂信  
雄執筆依頼文書)1981.2.24,『延齡草』04Vol.2 北大生協読書誌編集委員会 1981.11  
\* 遠友夜学校と新渡戸稲造(松井愈),「書評『遠友夜学校』美土路達雄著『月刊ダ  
ン』1981.11.1)コピー
- 48 「廃校に立ち合った一人として」自筆メモ2枚,「廃校に立ち合った一人として」自筆  
草稿6枚,「廃校に立ち合った一人として」自筆原稿コピー4枚,「廃校に立ち合った  
一人として」(さっぽろ文庫18『遠友夜学校』)1984.9 コピー1枚
- 49 「遠友夜学校についての話を聞く会への御案内」(1990.2.25)書き込みあり,「遠友夜  
学校とは何であったのか」同会松井レジユメ・資料 書き込みあり,「同会 講演記  
録」7枚,「松井愈宛星野フサ手紙」,「札幌遠友夜学校 - 戦後教育の原点と源流」自筆  
原稿?コピー,「札幌遠友夜学校 - 戦後教育の原点と源流」(『総合教育技術』小学館  
1996年4月号)コピー
- 50 『遠友夜学校に学んで五〇年(稿本)』松井愈 1991 69p

#### 民科・民科地団研・地団研・十勝団研

- 51 『ともに学ぶよろこび 団体研究の方法』井尻正二編 東大出版会 1953.9  
p37~81 抜粋コピー
- 52 『とかち - 川添先生追悼号 -』23号 十勝団体研究会 1973.2 67p
- 53 『ナウマン像のいた原野』十勝団体研究会編 北大図書刊行会 1974.7 365p
- 54 『瓊瑤』NO.30 北大教養部 1984.10 \* 「デスモスチルスの謎を追う(松井愈)」収載
- 55 『回想虫類ナウマン像の発掘』池森清吉編著 忠類村 1985.10 116p
- 56 『ナウマン像発掘の思い出 70夏』忠類村教育委員会他 1985.10 74p
- 57 公開座談会「ナウマン象発掘15周年(上)(中)(下)」ほか 『北海タイムス』  
1985.10.16 - 18 切り抜き コピー2枚
- 58 「大地のつぶやき 足寄むかしむかし」(『広報あしよる』NO.391 1985.11 掲載)
- 59 『足寄動物化石群研究の記録』足寄町教育委員会 1989.3 201p
- 60 『とかち - 十勝団研30周年記念誌 -』同誌編集委員会 1992.12 131p
- 61 『マンガで解説する足寄の化石』足寄動物化石博物館 1998.7 115p
- 62 『地学団体研究会誌』第1巻第1号・2号、第2巻第1~3号 1947.4~1948.11,  
『地学団体研究会専報』第1号(段戸花崗岩閃緑岩類及び段戸変成岩類 小出博)1949.1,  
第2号(火成岩成因論史 牛来正夫)1948.11,『地学団体研究会会誌』第3巻第1号・2  
号 1949.2・1949.3,『民科地団研普及講座第1号 日本の地史 古生代の地学』大久  
保雅弘 1951.2,『民科地団研普及講座第2号 日本の地史 中生代の地史』市川浩一郎  
1951.2,『民科地団研専報第4号 北上山地の火成活動』渡辺万次郎 1950.3,『民科地

- 団研専報第5号 北上山地の地質』湊正雄 1950.7
- 63 『科学者』7・8・11・25・26・30～34・号外・36・37・40～46 1949.1.25～1951.12.25
- 64 『科学文化ニュース』(『科学者』改題)47～57 民主主義科学者協会 1952.1.25～1953.3.20
- 65 「民科速報」 1950.5.16 1枚 \*全学大会の意向を無視
- 66 『民科研究ニュース』NO.3～8 民主主義科学者協会東京支部研究委員会 1950.12～51.9
- 67 『民科研究月報』NO.1～5 民主主義科学者協会研究委員会 1951.10～52.5
- 68 『札幌民科ニュース』 民主主義科学者協会札幌支部 1950.8.10 1枚
- 69 『民科札幌支部ニュース』 1951年(2/1・6/30・7/23・9/10), 1952年(4/5・4/25・6/25・11月号・12月号) 民科札幌支部
- 70 「地学団体研究会報」 1951.(10.3・11.7) 民科札幌支部
- 71 「民科ニュース」NO.1 1952.1.10, 「夕張民科」NO.3(2部)・NO.4 1952.2.15/ / 4.10  
民科夕張支部
- 72 「「夕張青年文化会」を結成しよう!」 夕張青年文化会 1枚 謄写刷
- 73 「民科のしおり」 民主主義科学者協会札幌支部 1952.5.10 1枚
- 74 「第7回大会のための報告要旨」札幌支部 1952.5.22, 札幌支部第7回大会案内, 一般報告一面よりのつづき 3枚 謄写刷
- 75 「軍事地質学の資料」 民主主義科学者協会地学団体研究会編 1951.2 17p 謄写刷
- 76 「千島・樺太問題特報」 民科札幌支部地団研部会 1951.11.10 1枚
- 77 「民科ニュース 号外 原爆展特輯号」 民科札幌支部 1951.11.10 1枚
- 78 「北海道原爆展ニュース」 民主主義科学者協会札幌支部 1952.2.25 1枚
- 79 「歴研札幌支部ニュース」NO.5 歴研札幌支部 1953.10.27 1枚
- 80 「泥炭地」再刊第1号 民科札幌支部農学部会 1953.11.8 1枚
- 81 『Borealopithecus』再刊第3号(通算第65号)地団研札幌支部支部報編集局 1971.10  
11p
- 82 『そくほう』no.143・臨時号・200・202・203・224・239・242・246・248～252・260～262・390(コピー) 地学団体研究会機関紙 1962.11～1986.4.1
- 83 『地学団体研究会札幌支部報 号外』地学団体研究会 1968.12 1枚
- 84 『炭鉱人』第100号 炭労夕張鉱業所職員支部 1951.9.15 1枚
- 85 『理論』 民科哲学部編集 1947.3～9、1948.1～5 日本評論社  
民科編集 1948.7～10、1949.1～12、1950.1～6 日本評論社  
1954.5～12、1955.1・2 理論社
- 86 『季刊理論』12～14・19・20 理論社 1950.3～1953.3
- 87 『国民の科学』(『理論』改題) 民主主義科学者協会 1955.3～12、1956.2
- 88 『言語問題と民族問題』 民科言語科学部会監修 理論社 1952.12 148p
- 89 『季刊歴史家』創刊号～第4号 北海道歴史家協議会 1953.8～1954.9
- 90 『北方農業』第2巻9号 農業委員会北海道連合会 1952.9 \*特集・北海道農業の動向
- 91 『新時代』1～9、別冊、11・14・15・17・24・27・28・38・46・47～50・51(61)・52・

57 新時代社 1950.7~1955.12

9 2 『おりぞん』1955.4・6~9, 『地平線』(『おりぞん』改題)1955.10~1956.1 おりぞん社

9 3 『まつかわ』第9号 まつかわ発行所 1954.4.10 \*真実と平和のために

§ ビデオ(「ナウマン象発掘(15分・15分)」、「象のきた道(45分)」、「象の歩いた大地(30分)」) テープ前半部分劣化

## 地質学研究

- 9 4 『襟裳岬巡検野帳(昭和18年5月8日-5月14日)』松井愈 \*小型手帳に鉛筆メモ書
- 9 5 『白滝遺跡の研究』白滝団体研究会 1963.5 72p
- 9 6 『問寒別川流域の森林経営と保全に関する基礎的研究』松井愈著 北海道大学農学部演習林 1963.9 60p 『演習林業務資料第6号』別刷
- 9 7 『北海道の化石』北海道地学教育連絡会 1964.12 163p
- 9 8 『十勝平野(地団研専報22)』十勝団体研究会編 地学団体研究会 1978.10 433p
- 9 9 『松井愈教授記念論文集』同刊行委員会編・刊 1987.5 261p
- 1 0 0 『十勝の自然を探る』十勝団体研究会編・刊 1968 194p
- 1 0 1 『十勝の自然を歩く』十勝の自然史研究会編 北海道大学図書刊行会 1983.8 269p
- 1 0 2 『札幌の自然を歩く』第2版 地学団体研究会札幌支部編 北海道大学図書刊行会 1984.5 265p
- 1 0 3 『道北の自然を歩く』道北地方地学懇話会編 北海道大学図書刊行会 1995.8 269p
- 1 0 4 『十勝の自然を歩く』改訂版 十勝の自然史研究会編 北海道大学図書刊行会 2000.6 269p
- 1 0 5 『十勝平野地質図および地形面区分図』(1/200000)同編集委員会 1981 1枚
- 1 0 6 『北海道創世記』松井愈 吉崎昌一 埴原和郎編 北海道新聞社 1984.8 197p
- 1 0 7 『日本の地質1 北海道地方』共立出版 1990.7 337p
- 1 0 8 『「すぐれた自然地域」自然環境調査報告書 大雪山・日勝圏域』北海道環境科学研究センター編・刊 1995.3 363p
- 1 0 9 『「すぐれた自然地域」自然環境調査報告書 道東圏域(山岳部)12地域』北海道環境科学研究センター編・刊 1996.3 322p
- 1 1 0 『忠類地域の地質』山口昇一・佐藤博之・松井愈 産業技術総合研究所地質調査総合センター 2003 68p \*5万分1地質図幅(忠類)1枚あり
- 1 1 1 『鴻ノ舞図幅説明書』(北海道鉱業試験場地質調査報告 第6号)1942.9 竹内嘉助著 p1~19 コピー
- 1 1 2 「北海道の炭鉱と地質学」(1987.1.17) 自筆年表1枚 コピー
- 1 1 3 「第6回道新学術文化研究奨励金贈呈」(北海道新聞 1985.5.12 記事 \*北海道地質形成



史の解明(松井愈ほか)

<ライマン関係資料>

- 1 1 4 「ライマンの学風とフロンティア!」 自筆メモ1枚,「Lymanの新潟油田調査」 自筆メモ1枚 400字原稿用紙に鉛筆書き
- 1 1 5 『ライマンと北海道の炭鉱』 松井愈著 北海道歴史家協議会 1953.8 p1~13 『歴史家』創刊号抜刷
- 1 1 6 『日本地学史』(平凡社全書)望月勝海著 平凡社 1948 184p
- 1 1 7 『ライマン・コレクション展 - 明治初期の北海道とマサチューセッツ州の交流 - 第41回特別展』北海道開拓記念館 1995.8 43p
- 1 1 8 「日本の地質学100年の歩み双書」刊行の趣旨,方法,執筆要領 1991.9.30 3枚  
\*松井愈氏あて古今書院封筒入り
- 1 1 9 国史大辞典編集委員会事務局封筒内  
注文項目書1枚(1986.11.17),写真15枚、スライド10枚、写真(1~13 - 全図(幌内付近)、ポロナイ、シホルカベツ、ヌツパホアナイ、14~19 - ホロナイ、20~27 - シホロ、28~35 - ヌツパ) 自筆原稿(原田豊吉3枚、藤田元春3枚、山崎直方4枚、横山又二郎3枚、脇水鐵五郎3枚、和田維四郎11枚)
- 1 2 0 日本学会事務センター封筒内  
文書館資料閲覧請求票(及び松井メモ4枚),自筆原稿・メモ等(B.S,Lymanとライマンスクール33枚,日本の地質100年18枚,ライマンの略歴・業績2枚,メモ2枚,グラフ2枚,Poronai Coal Field2枚,石炭と日本帝国主義1枚,相原安津夫宛文書3枚,山根新次「日本地質学会創立60周年に寄せて」コピーと松井メモ1枚,常磐炭田研究史に関するメモ4枚,コピー資料(「先人を偲ぶ」「THE GEOLOGICAL MAGAZINE」3部「ライマン説を論ず」「ベンジャミン・スミス・ライマン氏小伝」「Preliminary Report on the First Season's Work of the Geological Survey of Yesso」
- 1 2 1 茶封筒内 コピー資料1~22  
(1)「鉱山局の思いで」(『石炭時報』vol.2)(伊藤弥次郎) (2)「北島炭業の創始 = ライマン氏の功績 = 」(『石炭時報』)(西山正吾) (3)「ライマン先生 = 弟子の見た先生 = 」(『石炭時報』vol.1,no.3)(島田純一) (4)「波乱重畳の五十年 = 無資力に終始した炭鉱業 = 」『石炭時報』vol.2,no.11)(桑田知明) (5)「私の役人生活」(杉浦讓三)(『石炭時報』) (6)「思い出の人」(『石炭時報』)(安達仁造) (7)「思い出す事ども」(『石炭時報』vol.1)(團琢磨) (8)「史伝ライマン氏を憶う」(『地質学雑誌』328号)(佐川栄次郎) (9)「賀田貞一君略伝」(『日本鉱業誌』NO.370) (10)「故山際永吾君小伝」(『日本鉱業会誌』)(西山正吾) (11)「正会員故西山正吾君略歴」(日本鉱業会誌)(12)「桑田知明翁を痛悼す」(日本鉱業会誌 NO.614) (13)「坂市太郎氏自序伝・第1編沿革編」北炭北海道支店罫紙にペン書きコピー (14)欠 (15)「榎

本武揚 明治六年北海道巡回日記」(『新しい道史』第3巻第4,5号) (16)「開鉱百年史(創業時代)」(茅沼鉱業所) (17)「地層褶起ノ説」(『学芸志林』第13巻)(坂市太郎) (18)「ナウマンの日本群島構造論」(『自然』1983.3月号)(谷本勉) (19)「ライマン - 日本油田調査 第2年度(1)」(『地球』14-3,15-6) (20)「ナウマン氏小話、フォッサマグナ、釧路風景」(『地球』2-4)(佐川栄次郎) (21)「本邦に於ける地質学の歴史」(『地質学雑誌』第147号)(神保小虎) (22)「荒井郁之助」(人物叢書)(原田 朗)吉川弘文館 1994

1 2 2 茶封筒(HOKKAIDO UNIVERSITY)内

(1) 松井愈宛奥山亮書簡 2通 (2)「ライマンとライマン・コレクション」ライマン・コレクション保存協力委員会 1988 9p (3)「ライマン - 日本油田調査第二年報」(『地球』vol.14 1930) (4)『常盤炭田第1区磐城国石城郡湯本付近地質説明書』,「JOBAN COAL FIELD」,地質図7枚 コピー

1 2 3 資料ファイル(「ライマン資料 資料あつめの手紙類」)

「LymanのField Noto - ルートマップ」自筆メモ1枚(1995.11.3),「ライマンとナウマン百年史の一コマ」(佐藤博之)コピー,「中浜万次郎」自筆メモ1枚,「津田梅子」自筆メモ1枚(1991.3.10),「子規 漱石」自筆メモ1枚,「今、考えていること...十勝団研...30年を区切る」自筆原稿4枚,「十勝団研30年記念誌」作成要綱,「北大の沿革史」自筆メモ3枚,「海軍伝習所」・「戊辰戦争」自筆読書メモ各1枚「湊 正雄」自筆メモ1枚,その他自筆メモ8枚,「日本鉱業会誌所蔵リスト」,「松井愈宛夕張市石炭博物館書簡」2通(自筆メモ1枚挿入),「ライマン関係書籍目録」4枚,「榎本武揚関係史料」コピー・メモ,「茅ノ澗石炭山取調書の付函類」,その他史料関係自筆メモ11枚,『ライマン・コレクション展』(リーフレット),『北海道大学附属図書館北方資料室概要』,その他ライマン関係自筆メモ11枚,「山内徳三郎、坂市太郎、西山正吾について」自筆6枚,「Preliminary Report of the First Season 等英文史料について」自筆メモ8枚,その他自筆メモ11枚

1 2 4 資料ファイル(「Lyman メモ(2)」)

「坂市太郎、西山正吾についての草稿」23枚,「北海道の開発と石炭鉱業」(1918)(坂市太郎) コピー,「新井田宛松井愈メモ(1993.1.19)」,「松井愈宛新井田清信 FAX」その他コピー資料

1 2 4-2 新聞切り抜き6枚,坂市太郎の略歴 コピー5枚,「B.S.Lyman's Topographical method in the geological Survey」自筆メモ,「B.S.Lymanの地質調査法(Topographical method)」,ほか地図・資料コピー・写真

1 2 5 ライマン以後北海道と石炭(資料ファイル)

ライマンの北海道地質調査同行11人の略歴 12枚,「開拓使と移民政策~安保の帝国主義同盟化」自筆メモ1枚,「横山」自筆メモ・「荒井郁之助経歴」読書メモ・「榎本武揚年譜」コピー,「1 開拓使仮学校...」,ライマンに関する草稿・メモ15枚  
ライマン関係自筆年表 3枚

1 2 6 地質関係ファイル(ストックファイル内)

メモ・資料(「History of the Pacific coast Section of the Paleontological Society」ほか)5枚,地質学雑誌第1巻(1893~94)ほか読書メモ10枚,地質図三葉(「北海道地質測量 大日本北海道石狩国又パラマナイ煤田区部之地質及地理的概則之図 明治九年 来曼ほか」(又パラマナイ煤田)「同」(コピー),「北海道地質測量 大日本北海道石狩煤田各所ノ測量ヲ合併セル地質的兼地理的図 明治九年五月九日 来曼ほか」(北海道大学理学部封筒内),地質図五葉「Geological Map of the Southern Part of the Isikari Coal-Field」,「同」(コピー),「A GEOLOGICAL SKETCH MAP OF THE SORACHI COAL FIELD IN YESSO ,JAPAN,BY BENJAMIN SMITH LYMAN,...」(コピー),「同」(縮小コピー),「日本地質学会第101年学術大会寄せ書き」(1994.9.23 - 25)コピー

1 2 7 地鉦教室10年史ほか(ファイル内)

「明治大正日本地質学の回顧」(斎藤野人),「明治七年大鳥圭介報文石炭編 開拓使 明治12刊行」)コピー,『北海道帝国大学理学部地質学鉦物学教室拾年史』,『古潭 会誌』第18・19・21・24号(1942~1945),『日本地質学会第五十四年総会プログラム』(1947.5.17 - 19),『北海道帝国大学理学部地質学鉦物学教室研究報告目録』『同 ( )』

1 2 8 ファイル

新聞の切り抜き,雑誌抜粋コピー資料ほか

1 2 9 断層図等

断層図等24枚,「北海道後志国岩内郡茅ノ澗村石炭山取調書」(2種),「北海道地質 図変遷史」(佐々保雄)コピー,OH Pフィルム29枚

1 3 0 地質関係 (地質調査所北海道支所封筒内)

- (1)「榎本武揚 - 戦国・幕末の群像」(『現代視点』抜粋)
- (2)「北海道を開拓したアメリカ人」\*ライマン関係抜粋(藤田文子)
- (3)「地質調査所初期の地磁気観測 百年史の一こま(1)」・「博覧会と地質調査所 百年史の一こま(2)」・「明治26年吾妻山 殉難記 百年史の一こま(4)」(『地質ニュース』371~374)(佐藤博之)
- (4)「地学 雑誌 1~12 明治12」(抜粋)
- (5)「蝦夷地の外人ナチュラリストたち」(ライマン関係 抜粋コピー)(村上直人)
- (6)「Reviews Lyman Geology of Japan」
- (7)「新考北海道史」\*開拓使施設抜粋(奥山亮)
- (8)「石狩炭田を中心とする地質文献(1870 ~1970)」・「北海道の地質構造はどのように研究されてきたか 古第三系を中心に」 自筆レジュメ・コピー(項目のみ)
- (9)『千島調査を語る 佐々保雄先生を囲む座談 会速記録』(北海道大学地質学鉦物学教室 1992.2.16)
- (10)「屈折した北海道の 工業開発」(板橋守邦)\*炭鉦関係部分抜粋コピー,
- (11)『地学雑誌』第1号~12号抜 粋

**科学運動**

- 1 3 1 『北海道戦後科学者運動年表』6枚 タイプ印刷
- 1 3 2 『北京科学シンポジウム参加 札幌科学シンポジウム参加論文集』 北京科学シンポジウム北海道地区準備会 1964.10.4 94p \*「第6回札幌科学シンポジウムの成功をめざして」 1枚あり
- 1 3 3 『第2回北京札幌科学シンポジウム参加論文集』 北京札幌科学シンポジウム連絡会議 1965.11. 142p
- 1 3 4 『朝鮮戦争下の科学運動 民科札幌支部自然科学諸部会の活動を中心に』松井愈著 (『底流』第7号 1965.12) 抜刷
- 1 3 5 『現代科学への道』松井愈ほか著 北海道大学図書刊行会 1984.11 344,13p
- 1 3 6 『NC』no.54 北海道自然保護協会 1986.3 7p \*幌延の地質 核廃棄物処理としての調査に備えるか?(松井愈)
- 1 3 7 「幌延問題を考える(3),(4)(松井愈)(『北大職組ニュース』)」切り抜き
- 1 3 8 「松井北大教授が重大警告「幌延の地質はもろすぎる」(『月刊 ダン』1986年2月号) 北海道新聞社 1986.2 p28~30
- 1 3 9 「幌延の地質 核施設立地には不安(『北海道新聞』1986.9.22)」(松井インタビュー)
- 1 4 0 「人間に責任を負う地学教育を~「空知の自然を歩く」出版を一里塚に~」(松井愈)『鋼玉』第26号 1986.12 コピー
- 1 4 1 「自然史的地球から人間史的地球へ」(松井愈)(『日本の科学者』Vol.21No.2)1986.3 コピー
- 1 4 2 『教育に地球科学的アプローチを』(松井愈)(『教授学の探求』第5号別刷) 北海道大学教育学部 1987.3 5p

§ ビデオ 『札幌地区活断層と地震』 豊平懇 1995.4

## 北海道大学

- 1 4 3 『北大、あのとき・あのころ -』(松井愈)1992.1 86p

(文武会事件・全協事件)

- 1 4 4 「北大文武会事件」関連自筆メモ(年表式),「櫻星会文芸部史」/自筆メモ3枚
- 1 4 5 「北大文武会事件関連記事」(『北海タイムス』1928・1932年)コピー6枚
- 1 4 6 「全協事件(1937.7.10)」関係資料コピー  
 (1)「北大学園を 床 に赤の拡大強化を図る」(『北海タイムス』号外 昭和10.12.16)ほか (2)「昭和初期と私」(横岡雅雄)(『ラテルネ』41),(3)「日本労働組合全国協議会の運動状況」ほかコピー3枚 \*全協七・一〇事件 (4)「全協運動に対する予審最終決

- 定書(写)昭和 11.4.16 札幌地方裁判所 27 枚 コピー
- 1 4 7 「横岡雅雄氏関係」資料袋(「洪達全 栗原東洋 横岡雅雄」)  
「横岡雅雄先生の話(1986.1.12)」手書きメモ,「栗原東洋追悼集」,さつまいもの味(横岡雅雄)ほか 8 種
- 1 4 8 「北大ストライキの真相」(本間武三)『北大水産学部七十五年史』抜粋 コピー
- 1 4 9 「北海道帝国大学予科史」より抜粋 コピー
- 1 5 0 『櫻星会雑誌』39・40・42・48 北海道帝国大学予科櫻星会文芸部 1936.6~1939.3
- 1 5 1 『北海道帝国大学新聞』 1940.4.16
- 1 5 2 「櫻星会三十周年記念歌」 北海道帝国大学櫻星会 1940.10.15 楽譜
- 1 5 2-2 「北大関係社会主義運動家名簿」 治安維持法同盟札幌支部 コピー  
\* 「北海道における治安維持法による弾圧事件 1977.10.20」1 枚コピーあり

(イールズ事件)

1 5 3 イールズ事件関係

- (1) 「イールズ氏講演会に際し全学大会実行委員の成立過程と並にその経過報告」 実行委員会 3 枚,「...に対する報告」 日本国北海道大学全学大会 1950.6.1 2 枚,「イールズ問題はいかに調査され、処分は如何にして決定され様としているか」 実行委員会 1 枚,「処分理由にならぬ "告"」 実行委員会 1 枚,「イールズ問題 学生処分に対する声明」 北大職組中央闘争委員会 1960.6.26,「イールズ問題についての北大当局の説明書に対する声明」 北教組北大支部中央闘争委員会 1950.7.3 1 枚,「イールズ問題経過報告」(民科支部)1 枚,『北海道大学新聞』第 343 号 1950.6.19(\*イ事件第三回公開調査委会),『北海道大学新聞』第 344 号 1950.7.5(\*イ事件調査報告書全文),『北海道大学新聞』第 345 号 1950.7.10(\*イ事件処分者十名発表),『北海道大学新聞』号外 1950.5.17 (\*全国初の公開懇談会中止 イールズ講演を全学大会で抗議),『全学大会実行委員会報告書 告の反駁のために』1950.7.12 4p,『北大職組新聞』第 25 号 1950.6.11(イールズ問題特集号),「うなぎと共産主義」新聞切抜き 1 枚,『北大職組新聞』号外第 1 号 1957.11.30 (2) 「全学大会に参加しよう」<ビラ復刻> 民科北大支部 1950.5.15 1 枚, (3) 「北海道大学学長宛(処分反対再審議要求)」理学部自治会ほか 1950.7.1 コピー 1 枚, (4) 「イールズ闘争 20 周年北大集会」資料 1970.5.20(\*イールズ事件・その現在における意義 松井愈) (5) 「イールズ闘争 25 周年記念集会」プログラム 1 枚 1975.5.30, (6) 「北大イールズ闘争 31 周年記念集会」資料 1981.6.24 2 枚 (7) 「イールズ闘争 31 周年記念集会」プログラム, 同 ポスター 1981.6 \* 『北京科学シンポジウム参加札幌科学シンポジウム参加論文集』 1964.10.4(「イールズ事件・その現在における意義」(松井愈の論文あり) no.132 にあり (8) 『イールズ事件・その現在における意義』(松井愈) 1964.10.4 抜刷 (9) 『朝鮮戦争下の科学運動』(松井愈) 『底流』第 7 号 1965.12 抜刷 (10) 『北大イールズ事件の証言(2) 高岡健次郎

氏に聴く』(明神勲)コピー (11)「戦後平和運動の源流 - イールズ闘争」自筆レジュメ

(北海道大学教職員組合)

- 1 5 4 「北大職組年表」(1945~1958) 自筆 1 枚
- 1 5 5 「北大職組年表 1945 - 57」〔9 p〕 謄写刷
- 1 5 6 「北大職組年表 昭和 24・25・26 年度」3 枚 謄写刷
- 1 5 7 「北大教職員組合略年表 (1948 - 84)〔9p〕
- 1 5 8 『宮原教授渡欧後援会ニュース』第 7 号 1955.10.6
- 1 5 9 『宮原将平教授渡欧後援会報告』 同後援会〔刊年不明〕24p
- 1 6 0 『北大職組新聞』(『北海道大学職組新聞』) 52,54,73,84,105,137,141,149 (1952.8.17~1958.10.30)
- 1 6 1 「警職法討論集会討議録」 警職法共闘会議・北大職組 1958.12.10 〔8p〕
- 1 6 2 「**資料** 安保条約改定阻止安保条約廃棄の運動をすすめるために」北大教職員組合 自筆原稿 30 枚
- 1 6 3 『**資料** 安保条約改定阻止安保条約廃棄の運動をすすめるために』北大教職員組合 16p (附・「日米安全保証条約(全文)1951.9.8 調印」「日米安保条約改定交渉のうちきりを要求する決議) 謄写刷
- 1 6 4 『ほくだい(北大職組ニュース)』540・542・544・550・551・552・578・579・580・581・582・584・587・589・593 (1985.6.15~1988.3.1)
- 1 6 5 『ほくだい(学長選挙特集)』NO.8 (1987.3.7)
- 1 6 6 『エルムのもりはいま - 危機に瀕する教育・研究・医療 - 』北大職組 1992.4
- 1 6 7 『写真でつづる北大職組 50 年』 北大教職員組合 1998.3 64p
- 1 6 8 「(1)大学とは?(2)北大とは?(3)札幌農学校 - 北大の源流」自筆メモ 3 枚,『北海道大学新聞』第 359・360・376・378・484 号 (1951.10.5~1961.7.6) ,「 軍事研究の戦後史 ...」レジュメ 青焼き(自筆)
- 1 6 9 「89 - 90 北大軍事研究」(資料袋)
- (1)クラス討論資料「北大獣医学部で明るみにだされた日米細菌兵器研究」 北大・予件・米軍の細菌兵器開発に反対する北大生の会(準備会)10p (2)学長伴の獣医学部教官の米軍施設での研究に関する 1 / 1 7 記者会見内容のペテンとゴマカシ 同会 3 p (3)米軍「生物戦争計画」と予研の「体質」(芝田進午)(『エコノミスト』 '89.11 コピー (4)「軍事研究についての学長見解 堅持したい軍事研究拒む心」(『ほくだい』624 号 1990.2.1 (5)『北海道宗平協通信』no.2 『北海道宗教者平和協議会 1990.2 (6) 三・一ビキニデー北海道秋季実行委員会への参加要請書 北海道宗教者平和協議会ほか (7)第 24 回紀元節復活反対 2・1 1 道民集会開催要項 1990.2.11 (8)本島市長襲撃に抗議する共同声明 長崎市長襲撃に抗議する共同声明グループ 1990.1.25 (9)集会のご案内「2・1 1 建国記念日紀元節を撃つ!」1990.2.11 1 枚 (10)キリス

- ト者にとって大嘗祭とは 川端純四郎 \*賛助のしおり 1枚 (11)内閣総理大臣海部俊樹あて 大嘗祭に国家が関与することのないよう要望書 はがき1枚
- 170 (1)「大山郁夫先生の一枚の色紙」自筆原稿・メモ 6枚 (2)「北大における平和・民主・人権のたたかいの自然科学的伝統」レジュメ・略年表 4枚 (3)『北大における平和・民主・人権のたたかいの自然科学的伝統』抜刷 (4)「私の出発点 1戦中派の思い出」  
(『理学部同窓会誌』掲載)コピー (5)『北大を去るにあたって』(リレー連載「あのとき・あのころ」)北大職組ニュース切抜き他 1988.5.17
- 171 『底流(北大理学部総合雑誌)』第3・5・7号 北大理学部学生自治会 1961.11~1965.12
- 172 『れじすて』19・21~28・32 \*20 一部のみコピー 桑野道夫は松井愈のペンネーム〔1953〕~1960
- 173 『楡の仲間』5・6・8・9・11 北大職員文学同好会 1956.9.5~1958.10
- 174 『W.S.クラーク先生没後100年記念文集』札幌独立キリスト教会ほか 1988.5 54p
- 175 新聞切ぬきファイル「北大・北海道」  
「あのころこのひと」人物学園史(1964.2.5),「現代に残る北海道百年史 晩成社」,「大志の年輪」,「大学紛争 その後十年」,「お雇い外人・ガワの生涯」,ほか

### 北海道文化人の会・60年安保闘争

(北海道文化人の会)

- 176 「文化人の会」資料ファイル 1揃
- 177 「安保反対北海道文化人の会事務局(松井)」資料ファイル(1960.6.1~)
- 178 「安保反対北海道文化人の会事務局(松井)」NO.2 資料ファイル  
(1)岸内閣の総辞職と国会解散! - 声明 - (2)声明 2枚原稿用紙にペン書き (3)第6回原水爆禁止世界大会北海道東京沖縄1万キロ国民平和大行進日本原水協代表氏名1枚 (4)会員名一覧 ペン書き (5)請願内容(裏面・衆議院議長清瀬一郎、参議院議長松野鶴平あて請願書 1枚 (6)4月26日現在賛同者氏名 (7)訴え - 北海道の文化人各位へ - ほか 草稿 (8)訴え 1960.4 1枚 (9)安保反対北海道文化人の会であつめた文化人個人の請願書(20名分) 原稿に書き写し (10)安保反対北海道文化人の会第1回懇談会 原稿用紙16p (11)声明 1960.6.1 1枚 (12)『岸政府退陣・国会即時解散・安保新条約破棄~』ビラ1枚 (13)『全道労協』第221号(岸打倒へ怒り爆発 安保阻止空前の6・4大行動)(14)声明(大学教授団有志)1枚謄写 草稿あり (15)安保資料・民主主義はこうして破られた (16)申し入れ軍備全廃・平和共存に向って共に前進しよう 1枚 (17)『ガンマー』1巻第3号 (18)各界の名刺12名分貼付 (19)その他
- 179 「安保反対北海道文化人の会 “訴え” に対する返事」本田明二ほか 葉書420枚
- 180 「請願書」1960 2枚 裏表

- 1 8 1 「訴え」 安保反対北海道文化人の会 1960.4 1 枚
- 1 8 2 「声明」 安保反対北海道文化人の会 1960.4.26 1 枚
- 1 8 3 「安保反対北海道文化人の会 - 第一回懇談会記録 - 」 1960.4.26 2 枚 (2 種類)
- 1 8 4 「会員の皆さんにおねがい」 1960.4.30 1 枚
- 1 8 5 「わたしたちはもうだまっておれません」 同会 1960.5.16 3 種類
- 1 8 6 「第二回懇談会 (1960.5.11) 記録」 1 枚
- 1 8 7 「岸内閣の総辞職と国会解散！」 同会 1 枚
- 1 8 8 「第三回懇談会御通知」 同会代表者 松浦 一・更科源蔵 1960.5.30 1 枚
- 1 8 9 「札幌市民の静かな行進 (提灯デモ) ,, に御参加下さい。」 同会 1960.6.1
- 1 9 0 「ちょうちんデモに御参加を」 同会 1960.6.1
- 1 9 1 「安保反対北海道文化人の会第三回懇談会 (1960.6.1) 記録」 2 枚
- 1 9 2 「会員の皆様へ (第五回懇談会 (6.24)) の討議など」 同会事務局 3 枚
- 1 9 3 『文化人の会ニュース』 No.1 同会 1960.9.15 1 枚
- 1 9 4 「琴似地区懇談会 (1960.10.27) 案内」 往復はがきほか 4 種 (「浅井宏宛出欠返事」 葉書 5 葉, 「浅沼さんの道民葬.....案内」, 受取人不在葉書 1 葉 (1960.10.19), 「第四回西山鼻地区分会 (1961.1.24) 案内」 往復はがき)
- 1 9 5 「抗議および要請」 (中央公論社社長嶋中鵬二宛) 同会 1961.2.2 2 枚
- 1 9 6 『北海道文化』 NO.1, 2 北海道文化人の会 1961.5.1, 1962.6.15

(60 年安保闘争)

- 1 9 7 (1) 「安保改定阻止 大学自治擁護 北大共闘会議総会開催について」 同会事務局 (1960.4.18) (2) 「全学集会参加の皆さんによびかける (1960.5.19)」 研究と教育を語る (3) 「五・一九～二〇 民主主義はこうして破られた」 北海道平和委員会 (4) 「共闘ニュース」 全学共闘会議 (1960.6.13) (5) 「全学大学院会議ニュース」 No.1 民主主義擁護・安保体制打破全学大学院会議 (1960.7.6) (6) 「教養部学生諸君に訴える」 教養部教官有志 (1960.11.2) 自筆原稿 3 枚 (7) 「「政防法」の暴挙についての訴え」 同会政防法懇談会一同 1961.6.5 (8) 「「たたかひのきろく」」 安保体制打破大学自治擁護全北大共闘会議 (9) 「(文化人の会宛) 緊急幹事会 (8 月 20 日) 開催御案内」 日米安保体制打破道民会議 葉書 (10) 「(文化人の会宛) 安保幹事会 (8 月 29 日) 開催について」 日米安保体制打破道民会議 1960.8.26 葉書 (11) 「(文化人の会宛) 第九次全国統一行動についての要請」 北海道平和運動協議会 1963.5.14
- 1 9 8 (1) 『平和ニュース』 14・16・18・28・31～36・38 北海道平和委員会 1958.6.20～61.4.20 (2) 『北海道大学新聞』 459 号 1960.1.25 ほか安保関係新聞 (3) 『アカハタ』 1960.1.12/2.20 (4) 『毎日新聞』 1960.4.20 夕刊 (5) 『読売新聞』 1960.4.20 夕刊 (6) 『教育大学新聞』 第 335 号 1960.4.25 (7) 『北海道新聞』 1960.5.16/5.20/5.26/5.27/6.4 「社説」 切り抜き 1960.5.24 (8) 『朝日新聞』 1960.5.25 (9) 『道



大職協』第25号 北海道地区大学教職員組合協議会 1960.9.10

- 199 「北大職組スクラップブック(1) 1958.11 - 59.5」
- 200 「北大職組スクラップブック(2) 1958.11 - 59.5」
- 201 「北大共闘会議スクラップブック 1959.5 - 60.6」
- 202 「教授団スクラップ 1960.5 - 7」
- 203 「大学教授団・北大研究者の動き 1960.6」資料ファイル 北海道平和委員会
- 204 「声明」 大学教授団有志 1960.6.16 1枚
- 205 「安保ピラ(1959~1960)」など57種 袋入り
- 206 「安保ピラ」(北海道文化人の会事務局資料ファイル) 25種

### 平和運動・平和教育

- 207 『安保条約と自衛隊』松井愈著 労働旬報社 1969.10 110p
- 208 『北海道で平和を考える』深瀬忠一ほか編 北海道大学図書刊行会 1988.11 287p
- 209 『戦争と平和の事典』松井愈ほか著 高文研 1995.7 254p
- 210 『松井愈平和運動論文集』 北海道平和委員会 1997.10 535p
- 211 北海道平和委員会発行書籍(松井愈編著ほか)
  - (1) 『戦争のない世界、軍備全廃をめざして』(軍備全廃パンフ第1集) 1961.6 42p
  - (2) 『北海道における軍事基地の実態』(同 第2集) 1962.1 39p
  - (3) 『十勝太・ロランCをせきとめよう』(同 第3集) 1962.7 17p
  - (4) 『全般的軍縮と平和のための - 世界大会(1962.7.9 - 14 モスクワ)報告 浜林正夫・中川建治』(同 第4集) 1962.10 40p
  - (5) 『ポラリス戦略と北海道』(同 第5集) 1963.6 19p
  - (6) 『恵庭事件』(同 第6集) 1964.3 24p
  - (7) 『恵庭事件(改訂版)』(同 第7集) 1964.8 24p
  - (8) 『中国みたま』 岡田尚一郎(同 第8集) 1964.12 68p
  - (9) 『恵庭事件(三訂版)』(同 第9集) 1965.2 24p
  - (10) 『日本軍国主義復活と北海道』(同 第10集) 1965.4 56p
  - (11) 『三矢作戦計画と恵庭事件 田中義男統裁官の証言』(同 第11集) 1965.8 16p
  - (12) 『恵庭事件(四訂版)』(同 第12集) 1965.12 24p
  - (13) 『北海道に核ミサイルはいらない』(同 第13集) 1966.3 28p
  - (14) 『三矢作戦計画の全ぼう』(同 第14集) 1966.6 28p
  - (15) 『憲法違反の自衛隊を裁く 恵庭のたたかい』(同 第15集) 1966.11 32p
  - (16) 『沖縄のたたかい 下向一二訪沖報告』(同 第16集) 1968.1 28p
  - (17) 『矢臼別演習場を農民にかえせ』(同 第17集) 1968.3 20p
  - (18) 『北海道に核ミサイルはいらない その2』(北海道平和委員会パンフ第18集) 1968.7 26p

- (19) 『日本海を平和な海に』(同 第19集) 1969.4 30p
- (20) 『きけ! ヤマのいかりを!』(同 第20集) 1969.6 32p
- (21) 『安保と炭鉱をたたかう(森谷雅春)』(同 第21集) 1969.12 24p
- (22) 『長沼・千歳ナイキ基地反対のたたかい』(同 第22集) 1970.7 68p
- (23) 『源田証言(第1回)を糾弾する 長沼ナイキ基地反対のたたかい その3』(同 第23集) 1971.1 44p
- (24) 『核安保下の原子力発電所』(同 第24集) 1971.11 34p
- (25) 『72・夏 北海道』(同 第25集) 1972.7 36p
- (26) 『長沼農民は告発する(清水与作)』(同 第26集) 1972.9 36p
- (27) 『富士戸1号ダム - これが四次防だ (関口喜一郎・長沼にとりくむ科学者グループ)』(同 第27集) 1973.3 34p
- (28) 『違憲の自衛隊を告発する』(同 第28集改訂版) 1973.7 53p
- (29) 『長沼第二審の勝利にむけて(1)』(同 第29集) 1974.7 58p
- (30) 『矢白別ものがたり(三宅信一)』(同 第30集) 1974.8 32p
- (31) 『被爆30年に憶う(酒城繁雄)』(同 第31集) 1975.3 48p
- (32) 『あらたなファシズムの科学と人間の否定を許すな!』(同 第32集) 1976.7 29p

2 1 2

- (1) 『"防衛論"・有事立法 - いかになたかうか』(平和連鎖学習会資料第1集) 1978.12 38p
- (2) 『ガイドライン(日米防衛協力のための指針)と80年代安保(林茂夫)』(同 第2集) 1979.3 36p
- (3) 『平和運動三〇周年と平和の思想(松井愈)』(同 第3集) 1979.4 32p
- (4) 『79・9・7 - 長沼一審判決6周年記念集会記録』(同 第4集) 1980.3 44p
- (5) 『81年8月長沼基地水害』(同 第5集) 1982.3 38p
- (6) 『極東有事 戦域(限定)核戦争と自衛隊』(同 第6集) 1982.5 40p
- (7) 『日米合同陸演を許すな!』(同 第8集) 1983.5 54p
- (8) 『日米合同陸演を許すな! - ヤマト83闘争の教訓と課題』(同 第9集) 1984.1 55p
- (9) 『北海道の平和運動を構築しよう!』(同 第11集) 1986.6 29p
- (10) 『核戦場化につきすすむ北海道(松井愈)』(同 第12集) 1986.7 15p
- (11) 『新防衛構想への転換と北海道(林茂夫)』(同 第13集) 1988.1 47p
- (12) 『平和の炎 - 89・沖縄 - 』(同 第14集) 1989.10 116p
- (13) 『北海道農業と日米安保(山田定市)』(北海道平和委員会学習資料第15集) 1990.5 26p
- (14) 『九〇年代を展望する平和教育(相場実)』(同 第16集) 1990.7 26p
- (15) 『1990年代安保 北海道と自衛隊(松井愈)』(同 第17集) 1990.9 20p
- (16) 『湾岸戦争と日本 - 日本は「参戦国」となった(松尾高志)』(同 第18集)

1991.2 21p

- (17) 『'90年代安保と日本国憲法(廣谷陸男)』(同 第19集)1991.5 21p
- (18) 『“憲法を武器に”、諸国民の平和に生きる権利を打ちかためる平和運動(松井愈)』(同 第20集)1991.10 14p
- (19) 『アメリカの世界戦略 - 日米盟約とPKO法 - (松井愈)』(同 第21集)1992.1 17p
- (20) 『国連の平和維持活動PKO法案(佐藤博文)・PKO法案と有事体制(石田明義)』(同 第22・23合併号)1992.2 55p
- (21) 『自衛隊の海外派兵を許さないシンポジウム』(同 24集)1992.9 54p
- (22) 『恵庭・長沼と平和憲法の新しい世紀に向かったの展望(深瀬忠一)』(同 第25集)1993.3 34p
- (23) 『北海道のC<sup>3</sup> 1基地に見る新たな増強と変化(松井愈)』(同 第26集)1993.10 16p
- (24) 『今こそ日本国憲法に世界史的輝きを!(佐藤博文)』(同 第27集)1995.1 18p
- (25) 『北海道に見る日米安保の変質(松井愈),在日米軍と自衛隊の合同演習の変化(高津直生)』(同 第28集)1996.1 20p
- (26) 『矢白別のたたかいに学び連帯する集い』(同 第29集)1996.5 44p
- 2 1 3 『70年安保と北海道農業』北海道平和委員会〔1970〕19p  
\* 1970.2.1 安保と農業をたたかう学習決起集会における山田定市氏の講演
- 2 1 4 『アジアの平和のための日本大会 = 沖縄(1972.1) = 北海道代表団報告集』1972.5 32p
- 2 1 5 『平和運動』No.100 1977.2 42p \* 長沼からの便り - 平和に生きる権利をめぐるたたかい
- 2 1 6 『北の被爆者 - 被爆四〇年に憶う - 』第1集 北海道平和委員会 1985.11 158p
- 2 1 7 『北の被爆者 - 被爆四三年のいま - 』第2集 北海道平和委員会 1988.7 181p
- 2 1 8 『北の被爆者』第3集 北海道平和委員会 1992.3 159p
- 2 1 9 『戦争放棄(あたらしい憲法のはなし) 八言語版 』北海道平和委員会 1995 12,34p

#### 松井愈講演記録他

- 2 2 0 『政府・自衛隊の憲法反逆罪を告発する - 北海道法廷における証言 - 』北海道平和委員会 1968.5〔12p〕
- 2 2 1 『安保条約の話』北海道平和委員会 1968.1 34p
- 2 2 2 『憲法第九条の解釈 佐伯先生の弁論の読み方』〔1968.2〕16p 謄写刷

- 2 2 3 『憲法第九条制定の背景と経過 - 藤本先生の弁論をよんで - 』 1968.7 20p 謄写刷
- 2 2 4 『「安保条約」 - 史的展開と当面の問題点 - (「札幌労働学校講義要綱」の内)』松井愈著 札幌労働者学習協議会 1969.6 6p
- 2 2 5 『自衛隊の実態 - 内藤先生の弁論の読み方 - 』 1969.11 22p 謄写刷
- 2 2 6 『最近の世の中の動きで一番大事なところ』その1~16(10・14欠) 1973.2~73.9 謄写刷
- 2 2 7 『ベトナム人民のたたかいとその歴史的勝利に学ぶ』 北大平和委員会 1975.6 21p 謄写刷
- 2 2 8 『有事立法と総合安保 - 9・7長沼判決五周年に - 』 17p
- 2 2 9 『軍事基地北海道』(「北海道で平和を考える」抜刷) 1988.11
- 2 3 0 『特集六二版「防衛白書」を斬る「国民と防衛」の批判的検討』1988.4(「法と民主主義」226号抜刷)
- 2 3 1 『平和運動の四〇年と矢白別』 \* 89北海道平和教育シンポジウムによせて
- 2 3 2 『「天皇と自衛隊の関わり」を考える』(天皇問題こだわり講座 第5回)ほか3枚(天皇の戦争責任問題の戦後政治の反動化・軍国化への役割(年譜), 祝第20回被爆者とともに平和もちつき大会)
- 2 3 3 『全道基地代表者会議記録』
- (1) 『アメリカの新「海洋戦略」と北海道(第11回 同会議)』安保破棄実行委他 1986.10 78p
- (2) 『北海道の軍事基地と自治体・住民運動(第12回 同会議)』" 1987.8 97p
- (3) 『変貌する北海道の軍事基地(第13回 同会議)』" 1988.11 112p
- (4) 『90年代日米安保と北海道(第15回 同会議)』" 1990.11 98p
- (5) 『世界安保へ基地増強の北海道(第16回 同会議)』" 1991.10 110p
- (平和教育)
- 2 3 4 『北海道における平和と教育』(『北海道の平和と教育』)Vol.1~12 同誌編集委員会編 1979.3~1991.10
- 2 3 5 『76秋 - 平和と教育をめぐる情勢と、自衛隊・軍国主義の教育介入の実態(76合同教育研究全道集会20分科会)』北海道平和委員会 8p 謄写刷
- 2 3 6 『第17回道民教合研石狩・千歳集会総括会議の成功のために』「平和・国際連帯と教育」分散会担当者 1978.8 [4p] 謄写刷
- 2 3 7 『有事立法と教育(78年合研全道集会第21分科会)』北海道平和委員会 9p 謄写刷
- 2 3 8 『日米合同陸演と平和教育の視点』北明邦雄 1983.11 [4p] 謄写刷
- 2 3 9 『日米合同陸演 - 監視抗議行動に参加して(北海道平和委員会資料)』(1983.11)[9p] \* 教師たちの感想文 謄写刷
- 2 4 0 『情勢の現段階と平和教育の課題』(88北海道平和教育シンポジウムによせて)

(平和委員会)

- 2 4 1 「『北大・平和の会』設立趣旨」 城戸幡太郎ほか 4 名 1952 年 5 月 1 枚  
2 4 2 『平和運動の進め方について(平和文庫 第 1 集)』 松浦一著 北海道平和委員会  
1955 58p  
2 4 3 「北海道平和委員会綱領規約」北海道平和委員会 1961.2 1 枚  
2 4 4 「総会アピール」 北海道平和委員会第 29 回定期総会 1991.7 1 枚  
\* 全道のみなさんへの呼びかけ  
2 4 5 『松浦一先生と平和運動 - 先生を偲ぶひとこと - 』 北海道平和委員会 1991.8 88p

(わだつみ)

- 2 4 6 「「わだつみ像」建設趣意書」 北大「わだつみ像」建設期成会 1 枚  
2 4 7 「北大「わだつみ像」建設期成会連絡文書」 1973.11.20 2 枚  
2 4 8 「「わだつみ像」 建立を訴える」 わだつみ像建立立命館大学実行委員会 1975.12  
1 枚  
2 4 9 「映画「きけわだつみの声」上映と講演(1995.11.22)感想文」 5 枚

(平野文庫)

- 2 5 0 『平野文庫』1~8、号外、9~27(14・17 欠)1981.4 - 1987.12  
2 5 1 「松井愈宛平野文庫手紙」1983.6.4  
\* 「少年時代の野呂栄太郎(エピソード)」

(その他)

- 2 5 2 (1)『日教組教育新聞』第 152, 190 号(1952.2.8/1952.10.24) (2)『東京大学学生新聞』  
第 121・2 合併号, 131, 136 号(1952.5.122~1952.10.16 ) (3)『図書新聞』158  
号(1952.8.20) (4)『旭川学生会報』第 7 号 学大旭川分校学生会(1952.9.10) (5)  
『北芸ニュース前進座特集』No.2 北海芸能社(1952.9.10) (6)『札幌西高新聞』第  
18 号(1952.10.23) (7)『北海道学芸大学新聞』第 54 号(1962.5.24) (8)『北海  
タイムス』第 5755 号(1962.6.18) (9)『きぼうの虹』第 139 号 北海道大学生生活  
協同組合(1985.8.3) (10)『北海道高教組情報』No.96-33(1997.1.20)  
2 5 3 新聞切抜き \* 「冬の山嶽征服にエスキモー式雪小屋の実験(1940.2.4)」ほか  
2 5 4 「祝第 30 回統一メーデー」 手ぬぐい 1 枚

北海道立図書館所蔵  
松井愈氏資料目録

---

発行日 平成 16 年 12 月  
編 集 北海道立図書館北方資料部  
発 行 北海道立図書館  
〒069-0834 江別市文京台東町 41 番地  
電話 (011) 386-8521  
FAX (011) 386-6906  
<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.jp/hk-toshō/top.htm>

---